

## 平成 26 年度 事業報告・収支決算を議決

5 月 8 日、東京・私学会館において全日私幼連の理事会が開催され、58 人（定足数は 60 人）が出席しました。香川敬会長のあいさつの後、議長に坂本洋理事（岩手県）、徳本達之理事（福井県）が選出され、議事録署名人に米川晃理事（広島県）、菅原真彌理事（佐賀県）が選任されました。

### 【審議案件 1】平成 26 年度事業報告承認の件

平成 26 年度事業報告について、各委員会委員長、プロジェクト座長から資料をもとに説明があり、原案を議決しました。

### 【審議案件 2】平成 26 年度収支決算承認の件及び会務監査報告の件

平成 26 年度収支決算について、田中辰実総務委員長から資料をもとに説明がありました。続いて、町山芳夫監事から会務監査報告が行われ、原案を議決しました。

### 【審議案件 3】特別委員会の設置の件

田中総務委員長、尾上正史副会長から「（仮称）政令指定都市特別委員会」の設置について説明があり、原案を議決しました。

### 【審議案件 4】ネパール大地震の義捐金の件

田中総務委員長から、4 月 25 日にネパール中部で発生した大地震への義捐金活動について資料をもとに説明があり、原案を議決しました。

### 【審議案件 5】幼児教育振興法（仮称）の件

田中雅道副会長から幼児教育振興法制定（仮称）に向けての課題と基本方針について、資料をもとに説明が行われ、内容について意見交換が行われました。会議での意見を踏まえて内容を加筆修正し定時総会に上程することを議決しました。

### 【協議案件 1】全日本私立幼稚園 P T A 連合会分担



金について

全日本私立幼稚園 P T A 連合会の平成 27 年度分分担金改定について、坪井久也政策委員長から 3 月 27 日に行われた全日私幼 P 連の常任委員会の報告、4 月 24 日の常任理事会での協議内容について報告があり、その後、協議が行われました。

協議の結果、全日私幼連・理事会として「平成 27 年度・全日私幼 P 連の分担金は改定を行わず、平成 28 年度より改定していただきたい」ことを決議し、全日私幼連から全日私幼 P 連・常任委員会等へ申し入れることとしました。

### 【報告案件 1】会務運営報告について

各委員会委員長、プロジェクト座長から活動についての報告が行われました。

### 【（公財）全日私幼研究機構からの報告】

田中雅道（公財）全日私幼研究機構理事長から機構の活動について報告がありました。

田中総務委員長から平成 27 年 5 月 20 日に行われる平成 27 年度・定時総会について報告があり、理事会を終了しました。

（調査広報委員長・四ツ釜雅彦）

## 平成 26 年度事業報告・収支決算を議決

平成 27 年 4 月 24 日、東京・私学会館において全日私幼連の常任理事会が開催され、30 人が出席しました。議長に村山十五副会長、議事録署名人に小澤俊通常任理事、友松浩志常任理事が選出され議事に入りました。

### ■審議案件 1：平成 26 年度事業報告承認の件

各委員会委員長・プロジェクト座長から平成 26 年度事業報告について説明があり、原案を議決しました。

### ■審議案件 2：平成 26 年度収支決算承認の件及び会務監査報告の件

田中総務委員長より資料をもとに説明があり、原案を議決しました。また、町山芳夫監事から会務監査報告がありました。

### ■審議案件 3：幼児教育振興法（仮称）の件

田中雅道副会長より「幼児教育振興法制定に向けての課題」について資料をもとに説明があり、内容について意見交換が行われました。一部文言を修正し、議決されました。

### ■審議案件 4：特別委員会の設置の件



田中総務委員長、尾上正史副会長より、（仮称）政令指定都市特別委員会の設置について説明があり、原案を議決しました。

### ■報告案件 1：全日本私立幼稚園 P T A 連合会の分担金について

坪井久也政策委員長より説明・報告が行われました。その後意見交換が行われ 5 月 8 日の理事会において協議することが確認されました。

### ■報告案件 2：会務運営報告について

各委員会委員長・プロジェクト座長より報告があ

理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

## 園の未来をデザインする 保育ナビ

6月号の主な内容

特集 スタートダッシュ！ 人材採用術

- 実践に生きる保育の POINT Vol.3  
地域交流における保護者対応の POINT は？
- 気になる子の未来のために 過ごしやすく暮らしやすく  
園での取り組み実践例  
雨の日の工夫
- スピーチ実践術！ Part2  
保護者会 ほか

月刊保育雑誌

定価：本体価格926円＋税  
B5判 72ページ

・人材育成の連載が充実！  
・特集記事、連載記事の連動企画が  
Web で読めます！  
「保育ナビ」で検索！

※表紙・内容は変更場合があります。



2015年度の表紙写真は倉橋想三の言葉に合わせて  
選んでいます。ぜひ本誌をご覧ください。

ISBN978-4-577-81376-8 746

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで  
03-5395-6608 保育営業部

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>

キンダーブックの  
フーベル館

りました。

■（公財）全日私幼研究機構からの報告

田中雅道（公財）全日私幼研究機構理事長等から、  
機構の活動状況などの報告がありました。

■その他／平成 27 年度全日私幼連・定時総会につ  
いて、田中総務委員長より説明がありました。

（総務委員長・田中辰実）

こどもが まんなか PROJECT

## “みんなのゆめをつなごう” グリーティングカードの活動



こどもがまんなか PROJECT では平成 27 年度普  
及啓発事業の一つとして、「みんなのゆめをつなご  
う」グリーティングカード活動を行っています。

このグリーティングカードは、シードペーパー、  
封筒、メッセージカードがセットとなっており、封  
筒の表面には絵が描けるようになっていました。子ど  
もたちに“みんなのゆめ”をテーマに絵を描いても  
らい、その封筒にグリーティングカードとシード  
ペーパーを入れて他の幼稚園のお友達にプレゼント  
します。お手紙を受け取ったお友達はシードペ  
ーパーを植えて、お花が咲いたら写真や絵などにして  
お手紙をもらったお友達にプレゼントします。この  
ようにして“みんなのゆめ”をお花とともに全国の  
幼稚園をつないでいきます。

その他の活用方法として、保護者や祖父母にプレ

ゼントしたり、自園で交換するなど幅広くご活用い  
ただけます。価格は 1 部 100 円（税込）です。お  
申し込みは都道府県私立幼稚園団体事務局へお申込  
みくださいますようお願い申し上げます。

### ◇グリーティングカード

封筒



（表 面）

（裏 面）



メッセージカード



シードペーパー  
数種類のお花の種を  
すき込んだ再生紙



優れた芸術家の作品を、  
子どもたちの生活環境へ。  
見て、触れて、感じながら、  
子どもたちの心は、  
大きく羽を広げます。

「喜ぶ少女」

株式会社 ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp



Johanna Elnarsdottir アイスランド大学学校教育学部学部長・教授／講演概要

## 教育の連続性 北欧諸国の視点から

### ■北欧モデル

アイスランド、フィンランド、デンマーク、スウェーデン、ノルウェーからなるヨーロッパ北部一帯の国々を北欧と呼び、北欧諸国では前世紀に社会福祉を中心とした保育が作られてきました。「北欧モデル」と呼ばれるものがそこで形成され、北欧では社会保障や男女雇用機会均等といった平等社会を発展させるだけでなく、子ども手当や育児休暇、そして全ての子どもが全日の保育を受けられる権利を持っている事を提唱する社会改革の一環として保育が生まれ、発展してきています。これは学校教育に代表されるように、家庭だけでなく社会全体の責任として子どもを育てていく事を意味しており、北欧における乳幼児教育は社会福祉であり、教育政策である為、国が責任を負うものであると考えられています。

北欧諸国では、1970年代に女性の労働力が必要になるにつれて乳幼児教育への関心、ニーズが高まりました。特にこの20年間で就学前の子どもが保育を受ける割合は著しく増加しており、2歳から5歳までの子どもたちのほとんどが保育を受けている現状があり、この事からも、全ての子どもに保育を提供する事は北欧の教育政策の中で当たり前の事として浸透している事が分かります。よって、就学前の子どもたちが全日の保育を受ける事は子どもの“権利”であると法令で制定されており、家庭の収入や保護者の就労等の条件に関わらず、全ての子どもたちが有する権利として位置づけられていますので、保護者が子どもに保育を受けさせたいと望めば、



各自治体にはそれを履行する義務があり、公立・私立に関係なく保育を受けられるようになっているのです。実際、1990年と2011年にとった統計を比較してみますと、北欧諸国全体で2歳から5歳までの子どもたちの保育を受けている割合は増加しており、特にアイスランドの例では2歳児保育の割合が50%から94%に増えました。

北欧5か国のうち4か国（デンマークを除く）が、保育は教育省の管轄下であり、デンマークを含む5か国全てに国のカリキュラムガイドラインが策定されています。その主な内容として以下の5点が挙げられます。1. 遊び、養護、学びが統合された包括的な視点が盛り込まれている 2. 民主的社会的価値を子どもたちと共有し、子どもが社会の一員として社会的に参画していく事が明示されている 3. 保護者と学校はパートナーとして協力体制を取る 4. 学びや健康で幸せに生きるための社会性、情緒、知的側面の発達が保障されている（原文ではwell-being） 5. 北欧モデルのポイントでもある

遊びの重要性が非常に強く明記されている。この5点は北欧諸国全ての国において掲げられている共通した理念・概念であり、同じ項目としてガイドラインに挙げられています。

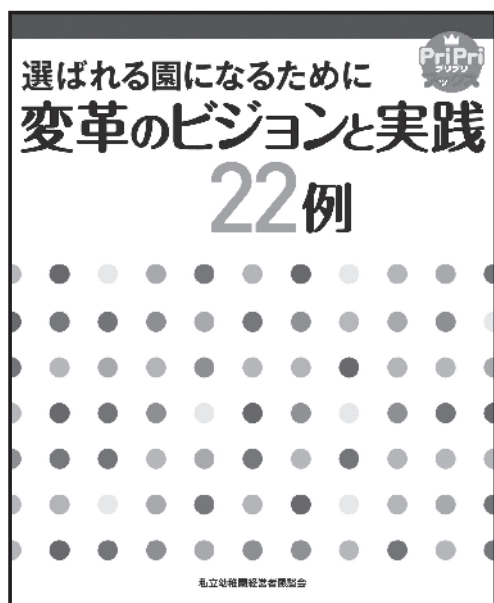
アイスランドは1991年までは2つの幼児教育機構がありましたが、一つの保育システムに統括され、それをプレスクールと呼んでいます。プレスクールは混合された異年齢保育を行っている所もあれば、年齢別にクラスを分けて保育を実施している所もあり、施設によって制度が異なります。世界56か国を見た際、就学年齢として最も多いのは6,7歳であり、北欧諸国を取り上げると5か国中3か国が7歳、2か国が6歳からの就学となります。7歳から小学校が始まる国において、6歳の年齢は「in between(間の教育)」と呼ばれる繋がり

の教育が意識されており、市町村の判断によって幼児教育や保育施設といった就学前の施設か、小学校の教室、そのどちらで行われるかは異なっています。ちなみに、アイスランドでは1991年に6歳からの就学に制度が変わるまでは他の諸国と同様、「in between」のクラスが提供されていましたが、もう少し早く始めるべきという意見から現行の制度に変更されたそうです。

## ■ジョン・デューイ『経験と継続』『準備』

講師のJohanna先生は教育における継続を考える際に、ジョン・デューイを考える必要があると仰いました。『経験と継続』で「子どもの経験は継続しているものでなければならない。ある状況で得られた知識や経験がその後の状況をより理解させ、より効果的に対応できる方法となる事を意味している。」とあり、「学校は子どもが既に経験している所から始めなければならない。ある段階を通して発展した経験と能力は、さらなる学びの起点となるのだ」とデューイは提唱しました。この理念を考えると、小学校という所は保育において子どもが培った経験を生かした形で教育が展開される場所であるべきではないかという事です。また、デューイによる「準備」では、「何かの為に準備する事が（今を生きる事を）制御する事になれば、現在の可能性は推測の未来への犠牲となってしまふ」という考え方があり、学校教育において、次の教育施設の為に準備するという意識で今ある学校を考えると、それ自体が矛盾をきたし、今ある学校という所を有意に考えられなくなる、といった危険性があるのではないかと指摘されました。(つづく)

(京都市・光明幼稚園副園長／田中康雄)



こども園への移行? 0・1・2歳児保育を導入? 保育の質の向上は?

## 選ばれる園になるために

～変革のビジョンと実践22例～

## 保育施設の未来がこの本に!

保育施設の“機能と質”を考える。  
22園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著

248ページ／税込4,320円

世界文化社刊／4061301

株式会社 世界文化社 ワンダー営業本部

TEL: 03-3262-5128 FAX: 03-3262-6121

私立幼稚園に関する情報を知りたいすべての方に向けたポータルサイト

## 私立幼稚園.com がリニューアルオープン

<http://youchien.com>

この度、全日本私立幼稚園連合会、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、全日本私立幼稚園PTA連合会のホームページを一つにした私立幼稚園のポータルサイト「私立幼稚園.com」を立ち上げました。

これまで、利用者によって訪問先のホームページが異なり、どのホームページに自分の欲しい情報が掲載されているかが分かりづらい状況でした。この度のリニューアルでは、利用者の目線に立ったホームページを目指して、まず3サイトに散らばっていた情報の整理や再配置を行い、利用者別、目的別に分類し直しました。また、最新の情報や利用頻度の高い情報、活用してほしい情報については適宜トップページに見やすく配置しております。

全日私幼連のホームページではこれまで会員のページへの閲覧にはパスワードを設定しておりましたが、パスワードがあることで利用者のホームページ訪問への足を遠ざけ、迅速な情報発信の機能を果たせていない状況でした。「私立幼稚園.com」ではパスワード閲覧のエリアを縮小し、利用者がパスワードによる煩わしさがなく情報を入手できるようにいたしました。

あわせて、スマートフォン用のページも作成し、スマートフォンからいつでも閲覧できるようにいたしました。さらに、今回のリニューアルではこれまで以上にセキュリティレベルを高くしてホームページの改ざんやウイルス感染など対策を強化し、利用者が安心して訪問できるようにいたしました。

なお、情報特急便は引き続き継続して配信してまいりますので、これまでご登録いただいたアドレスへの配信は引き続き行います。まだご登録がお済みでない加盟園の皆様におかれましては、新規のご登録もよろしくお願いいたします。



スマートフォンから  
もご覧いただけます

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 調査広報委員会

新刊

動かして遊ぼう!

### びっくり! おもしろ しかけ遊び

ねじれた輪ゴムのしかけや、転がるしかけ、曲がるストローのしかけなど、シンプルなかきで愉快な動きを楽しもう! 不思議な力と触れ合って遊べます。

立花愛子 佐々木伸 著

定価 2,160円(税込) 26×21cm/80ページ

発行・発売 チャイルド本社



### ※ 好評既刊 ※

びっくり!  
おもしろ紙遊び

びっくり!  
おもしろ砂遊び

びっくり!  
おもしろ空気遊び

びっくり!  
おもしろ水遊び

びっくり!  
おもしろ光遊び

# 日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

- 平成27年度まで限定の、耐震に関する低利融資制度です。ぜひご活用ください！

## 対 象

○旧耐震基準の園舎の建て替え  
耐震化促進のための補助金の  
対象となる改築事業

**耐震改築長期低利融資**

〔私立学校施設整備費補助金  
安心こども基金等〕

○耐震補強工事・非構造部材の  
**耐震対策事業**

防災（耐震）機能強化のための  
補助金の対象となる改修事業

**防災（地震）対策費（耐震改修特別融資）**

## 事業団の長期低利融資

この融資制度は

全借り入れ期間  
**0.5%の  
固定金利**です。



**融資上限＝補助対象事業費－補助金**

※ 補助金の対象となっている事業に  
対してご利用いただけます。



かわいい園バスが買いたいけど資金が…



- 通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利  
借入期間はなんと！  
**最長20年**

返済方法は  
利息負担の少ない  
**元金均等返済**

## 融資金利表

平成27年5月1日現在

| 融 資 費 目                                 | 返 済 期 間           |                   |                             |
|-----------------------------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------|
|                                         | 20年以内<br>(うち据置2年) | 10年以内<br>(据置年数含む) | 6年以内<br>(据置年数含む)            |
| 【一般施設費】<br>園舎・遊戯室等の建築事業等<br>並びに園地の買収事業等 | 年%<br>1.0         | 年%<br>0.5         | 年%<br>0.5                   |
| 【教育環境整備費】<br>校教具並びに通園バスの購入等             | —                 | 0.5               | 5年6か月以内<br>(うち据置6か月)<br>0.4 |

※融資金利は毎月の金利情勢により変更することがあります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

日本私立学校振興・共済事業団

融資部 融資課

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12

☎ 03 (3230) 7861～7867

✉ yushi@shigaku.go.jp



## 『幼児の生活と運動能力の関連性』

学校法人 中沢学園 認定みなみ若葉こども園  
みなみ若葉幼稚園教諭 遠藤 恵美 佐藤 美香

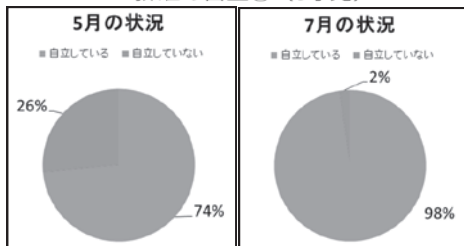
福島県の平成25年度の体力・運動能力調査結果が報告され、以前から運動能力が低かったところに原発事故による制約がかかり、震災前の水準にもどっていないことが報道されました。全国的に、少子化や遊びの制約・運動をする子としない子の二極化が要因となり、体力低下・運動意欲の低下は、将来を見据えた深刻な問題として叫ばれています。

神経系の感覚器官が著しく発達する幼児期に相応しい「生活習慣の確立」と主体的に体を動かす遊びを中心とした身体活動との関連性を昭和50年代から実践してきた「運動能力測定」の結果をもとに発表致します。

### ～研究内容～

- 園児の実態 ～「生活習慣」と「動作」からみた姿～
- 運動遊びへの取り組み
- 運動能力測定の実践
- 考察とまとめ

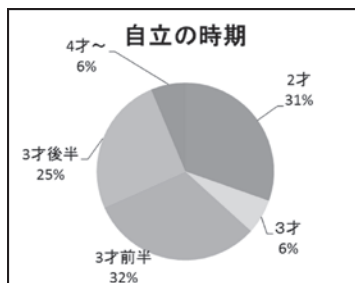
### 排泄の自立①（3才児）



### ■ 園児の実態

「3才児の排泄の自立の時期」をみると、5月末は全体の4分の1がオムツ着用でした。30度近い気温の日もあり、このころから水筒持参し、まめに水分をとって熱中症対策にも備えます。水分を多く取り、排泄しやすくなるのでトイレトレーニングがよく進むようになり、7月始めにはほとんどオムツが外れました。

排泄が自立すると自信や意欲が表われ、行動が積極的になりました。



3才の誕生日の時点では全体の3分の1しか自立していません。入園前のトイレトレーニングは性能の良い紙パンツにより、のんびりしているようです。

2才半前後には尿意を自覚してトイレで出せるよう体の機能は発達していきますので、タイミング良く必要な援助を行い身につけることが大切と感じました。その際に、子どもにとって「衣服の着脱」が自分で身体の使い方を知っていく経験として保育者がとらえ、個人差にあった援助ができていくかどうか、見直さなくてはならないことを感じました。「基本的な生活習慣を身につける」ということは、様々な動きを獲得する土台となっています。

「動き」という点では、「立って靴を履けない」「言葉と動作が連動しない」「良い姿勢が保てない」等年齢により特徴が出てきました。5月～6月の期間に子供の様子を観察し、「動作」の内容を『運動パターン観察表（幼児期における運動発達と運動遊びの指導（杉原隆・河邊貴子編著）』より評価し、課題をあげ取り組んでいます。

### ■ 親子で運動遊びをする取り組み

園外に出かけなくても幼稚園の自然や広さのある園庭の環境を生かした親子の取り組みを行事として行っています。3オクラスは、『巧技台遊びと聞ボール製作』 4オクラスは、『風車製作と親子ダンス』 5オクラスは、『凧作り、凧揚げ』です。

体でバランスをとったり、ボールを受ける遊びは家庭での機会が少なく、運動能力の程度がわからず、我が子の活発ぶりに驚く保護者の方もいました。またふだんから親や友達、兄弟と戸外へ出かけ、関わりを楽しんで遊んでいる子は活発です。保護者の感想からは『運動神経が良い・悪い』とか『お父さんも〇〇だったから遺伝かな』と「運動」を先天的な要素でとらえる傾向があるようでした。

親子で様々な動きを経験し、楽しく体を動かす遊びを増やすことで子どもの運動能力は向上していくことを実感してもらえようように訴えかけながら、行事の取り組みを継続していきたいと思いました。



## ■ 運動への取り組み

＋αの部分は、「時間」「空間」「仲間」を支える要素として、園独自に進める手立てとして大変重要です。

週日案作成、個人記録の記入、運動能力測定結果の家庭への配布、そして保護者や地域と様々な角度からコミュニケーションを持ち、結果として保育の質があがることにつながっていくと感じています。

このようなことを共通理解して保育を進めて行くために普段から園内研修を行っています。

## 〈みなみ若葉幼稚園の運動への取り組み〉

### 時間の確保

#### ①保育の柔軟性

一人ひとりの発達段階や成長を見据え、自己決定時や有即決を生み育てる機会を遊びと一斉保育を合わせた柔軟な保育をしている。

#### ②行事の活用

親子レクリエーション・園外保育・運動会・発表会

#### ③保育後の活用

預かり保育（19時までの延長保育）

### 空間の整備

#### ①安全な活動の場

防犯カメラ、遮断フェンス、出入扉などは最新式の施設を導入。来園時は、インターホン応答、保護者名札発着が日常。

#### ②場の開放

＊おひさまルーム（通10の子育て支援事業）  
＊遊園地の遊具開放・・・お迎え後に親子で園庭で遊ぶ。  
＊異体みのフル開放

### 仲間づくり

#### 交流

クラスでの保育者・友達とのふれ合いや学年間、異年齢児同士のかかわり

### ＋α

#### ①記録

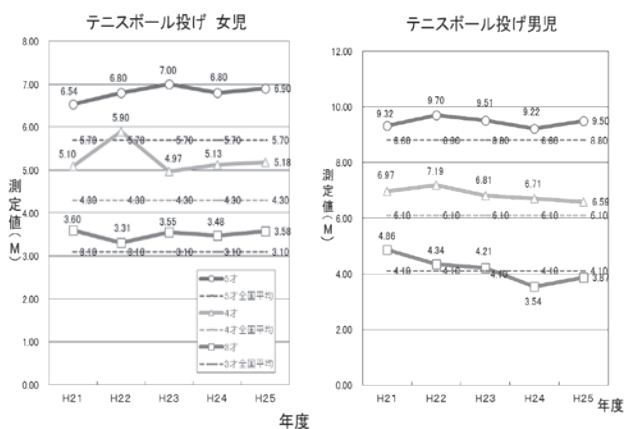
週日案、個人記録の記入

#### ②情報伝達

成長の記録の印刷に配布（運動能力測定結果）

#### ③連携

保護者や地域との連携（行事協力、若葉小学校の研究会や運動会への出席、卒業生の成長記録をとりきき在園児に発信するなど）



## ■ 運動能力測定の実践

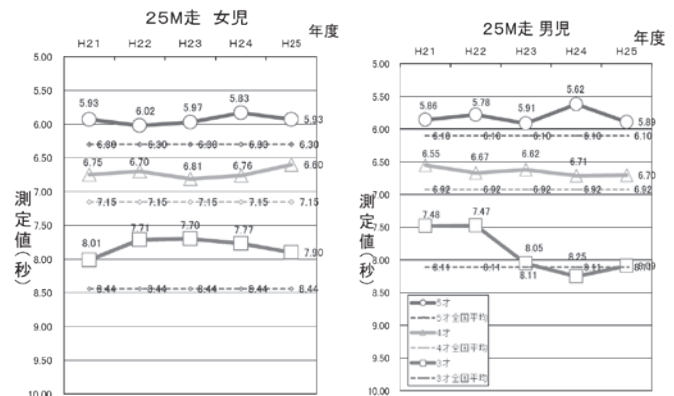
テニスボール投げは昨年度「全体的に右肩上がりの伸びがみえ、日頃の保育での様々な取り組みと家庭での経験が効果を上げている。」という傾向が見られます。

投げ方を含め、ボールに親しむという点で課題にあげて取り組んでいます。小学生以上の子どもたちも全国的に伸び悩んでいます。上から投げるだけでなく、「様々な方向から」また「ボールに限らない素材」を利用して、多様な動きが経験できるよう工夫していきたいと思いました。

男児25M走の3才児は、震災のあった23年度に値が下がっています。低年齢の子供ほど外遊びを制限されたことにより影響を受けたのかと思われます。

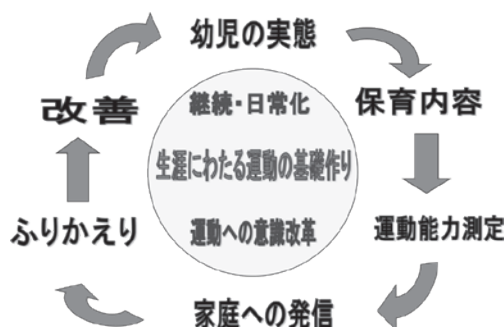
会津若松市は、比較的放射線量は低めでしたが、土の入れ替えをしたり、外遊びの時間制限の中、室内での運動遊びの工夫をしながら機会を増やしてきました。

昨年度は全国平均に戻り、回復を見せています。



## ■ 考察とまとめ

長年取り組んできた「運動能力測定」は、幼児の実態に合わせた保育内容となっているかを評価する重要な手がかりで、保護者にとって幼児の体力の状況を知る大事な目安となっています。家庭に発信することを通じて、保育をふりかえり、改善するという繰り返しの中で、運動能力向上へ向けた努力の「継続と日常化」の大切さ、運動能力向上が幼児の一生を豊かにすることにつながるという「意識の改革」の重要性を家庭や地域に訴えかけることは、保育者の大切な役割と考えます。



この研究を進めていく中で、本園の運動能力改善への取り組みが、『生涯にわたる運動の基礎づくり』に向けた大切な目標を形作ることとなり、子どもの体力低下が危機感を持って叫ばれる社会情勢の中で、それを克服するための重要なヒントをもたらす、新しい意味を持ち始めていることを感じました。子どもを取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、子どもも家族も成長に喜びを感じる楽しい園生活を継続し、改善を重ね、保育の質を高めていきたいと思ひます。

## サーキット運動は子どもの育ちに役立つか

○吉村 幸久（株式会社ウェルネス） 亀山 秀郎（七松幼稚園）

### I. 目的

幼児期運動指針(2012)では幼児期の運動経験を確保するよう促されており、身体を動かす時間を毎日合計 60 分以上確保することが望まれている。しかし、確保できているのは6割の幼児であるという調査結果も同指針の中で載せられている。このことから身体活動量を増やすために強度を高める方法を見つけ出すことが現代の幼児の健康に役立つのではないかと考えた。

そこで本研究では、サーキット運動に注目することにした。ここで用いるサーキット運動とは周回コース上に、5 種類以上の動作が組み込まれたもので、子どもたちが休むことなく動き続けられる状態の運動を指す。(図1)幼児のサーキット運動を中心とした体育教室における強度と、日常の保育内での自由保育、設定保育における強度を比較し、サーキット運動が身体活動量を増やすために強度を高める方法になりえるかどうかを考察する。

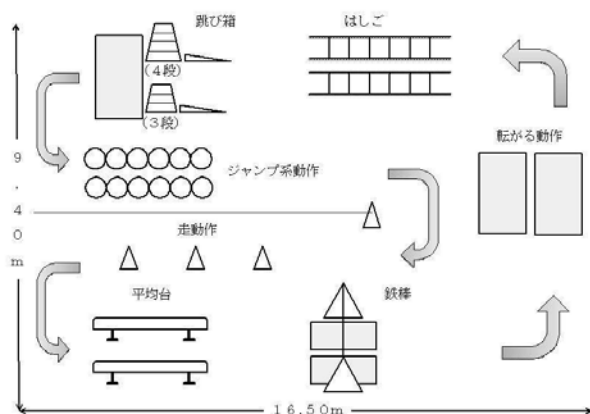


図1 サーキットのコース例

### II. 方法

#### 調査方法

私立N幼稚園の課外活動として行われている体育教室と保育中における運動強度を計るため、体育教室中の 14:10～15:10、自由保育中の 9:00～10:00、設定保育中の 10:30～11:30 を計測した。測定には一軸加速度計であるスズケン製 LifecorderGS を用いた。データの処理については Lifelyzer05Coach を用いた。設定保育については園の保育者と協議し、静的、動的なものに分類し、動的な設定保育を対象とした。また、体育教室に通う幼児たちの姿や発する言葉について事例から検討した。

#### 対象

私立N幼稚園(園児数 408 名)の保育後に行われる課外教室(在籍数 23 名)に通う年中女児 1 名。形態面は調査期間中においてカウプ指数 16～17 である。なお倫理的配慮として保護者に長期間の調査に同意を得た。

#### 調査期間

2013 年 4 月 24 日～2014 年 3 月 31 日の間、装着して登園できた 154 日。体育教室は期間内に 27 日、動的設定保育は期間内に 38 日の計測となった。

#### 分析方法

測定器が計測した、2 分ごとの運動強度のデータから低強度(0～3) 中強度(4～6) 高強度(7～9) が何回示されたかを調べた。(表1)そして、60 分間の運動強度合計値を求めて体育教室、自由保育、動的な設定保育を比較した。

### III. 結果と考察

サーキット運動を中心とした体育教室 27 日分の運動強度合計値の平均は 115.7 であった。自由保育 154 日分の運動強度合計値の平均は 63.2、動的な設定保育 38 日分の平均値は 63.2 であった。体育教室の値は自由保育、動的な設定保育の約 1.83 倍となった。サーキット運動は全身を動かし続けるように順列・並列で適宜設定しており、幼児が友だちどうしの相互作用をうけ、周囲の幼児と自然に競い合い、より良い動きを真似しながら動くことで、強度が高まりやすいのではないかと考える。

各保育別の値と比較すると自由保育では 100 を超えた日は僅か 1.3%で、動的設定保育では 100 を超えることはなく、体育教室の 1 時間では 70% 以上が 100 を超える結果となった。12 回目の活動時に 141.5 を記録した。これは運動会後初めての体育教室であったことによる心身の充実、また動きやすい気候へと変化したこと(前回比-9℃)が要因として考えられる。さらに体育教室中は 30℃ を超える暑い日や雨天時においても必ず高強度が確保された。(表1)

表1 60分間でみられた運動強度の合計値の度数分布

|    | 日付     | 天候 | 最高<br>気温 | 合計値   | 低強度<br>0～3 | 中強度<br>4～6 | 高強度<br>7～9 |
|----|--------|----|----------|-------|------------|------------|------------|
| 1  | 5月22日  | 晴  | 28℃      | 108.5 | 37.5       | 15         | 56         |
| 2  | 5月29日  | 曇  | 24℃      | 96    | 36         | 5          | 55         |
| 3  | 6月5日   | 晴  | 26℃      | 130   | 33         | 5          | 92         |
| 4  | 6月12日  | 晴  | 32℃      | 120.5 | 26.5       | 11         | 83         |
| 5  | 6月19日  | 雨  | 26℃      | 96    | 37         | 0          | 59         |
| 6  | 6月26日  | 雨  | 23℃      | 121   | 34         | 5          | 82         |
| 7  | 7月3日   | 曇  | 26℃      | 114.5 | 38.5       | 0          | 76         |
| 8  | 7月10日  | 晴  | 32℃      | 94    | 29         | 0          | 65         |
| 9  | 9月25日  | 晴  | 33℃      | 140.5 | 19.5       | 21         | 100        |
| 10 | 10月2日  | 晴  | 27℃      | 128   | 36         | 8          | 84         |
| 11 | 10月9日  | 晴  | 30℃      | 82    | 46         | 4          | 32         |
| 12 | 10月16日 | 晴  | 21℃      | 141.5 | 29.5       | 5          | 107        |
| 13 | 10月23日 | 曇  | 21℃      | 98.5  | 41.5       | 0          | 57         |
| 14 | 11月6日  | 曇  | 20℃      | 100   | 44         | 14         | 42         |
| 15 | 11月13日 | 晴  | 14℃      | 108   | 37         | 12         | 59         |
| 16 | 11月20日 | 晴  | 13℃      | 111   | 31         | 6          | 74         |
| 17 | 11月27日 | 曇  | 15℃      | 120   | 36         | 0          | 84         |
| 18 | 12月11日 | 曇  | 12℃      | 104.5 | 39.5       | 4          | 61         |
| 19 | 12月18日 | 曇  | 9℃       | 96    | 40         | 5          | 51         |
| 20 | 1月15日  | 晴  | 10℃      | 138.5 | 29.5       | 9          | 100        |
| 21 | 1月22日  | 晴  | 8℃       | 165   | 26         | 0          | 139        |
| 22 | 1月29日  | 晴  | 11℃      | 110   | 40         | 10         | 60         |
| 23 | 2月12日  | 晴  | 10℃      | 142.5 | 33.5       | 10         | 99         |
| 24 | 2月19日  | 晴  | 7℃       | 141   | 31         | 0          | 110        |
| 25 | 2月26日  | 曇  | 14℃      | 107   | 38         | 5          | 64         |
| 26 | 3月5日   | 曇  | 11℃      | 124   | 40         | 0          | 84         |
| 27 | 3月12日  | 晴  | 16℃      | 85.5  | 35.5       | 0          | 50         |

### 事例1 競争を楽しむ姿への変化

活動の中で競争を楽しむ姿が見られたため、サーキットコースで「よいいどん!」とかけ声をしてからゴールまで走る時間を設けると、より一層活性化し、「休憩しましょう」と告げても、さっと水分を補給し、すぐに「すぐやりたい!」と戻ってくるようになった。

高い運動強度を連続して記録している状態でも、休憩を必要としない姿が、幼児自ら「もっとやりたい」と感じている姿と読み取れる。

### 事例2 「自分」から「自分たち」への変化

サーキットコースを周回しながら周囲の子どもたちに目を向ける姿が増えているなど感じていたところ、休憩中に、子どもたちから「〇〇くんが初めて逆上がりができたよ!」「〇〇くんすごい走るの速い!」と、自分と周囲の子どもたちのことに関して伝えられる姿が増えていた。指導者に対してだけでなく、子どもたちどうしで伝え合う姿も増えていた。

個々に走ってはいるが、同じことを同じ時間に行っているため、周囲の子どもたちに目を向けや

すい。自分の状態に関しても伝えやすく、他児にも伝わりやすいのだろう。

### 事例3 「苦手」から「僕はやれる」への変化

Bくんは鉄棒で落下した経験があり、苦手としていた。公園や園の鉄棒には自分から近づかないようにしていたが、サーキットコースを周回する中でコース上に鉄棒があり、最初は鉄棒を避けて周回していたが、次第に自分から鉄棒に触れるようになっていった。指導者は鉄棒に触れるよう促すことはせず、Bくんの気持ちを尊重し、承認し続けた。自分から鉄棒に触れた時も、触れなかった日も変わらず承認を続けた。次第にBくんはBくんのペースで鉄棒への苦手意識を克服し、公園や園の鉄棒でも自分から触れて楽しむようになっていった。

決められた時間、決められた環境の中ではあるが、その中で、できるだけ子どもたちの主体的な姿を引き出そうと考える場合、指導者の求める姿が出た際に褒めるのではなく、その子の存在、状態そのものを承認し続けることが、その子自身が自ら行動する力になるのではないかと考えている。

### 事例4 日常生活への波及

サーキットコースを周回する中に鉄棒が設定されており、そこで鉄棒に触れることで鉄棒に興味を持ったことがきっかけで、園の鉄棒や公園の鉄棒であそぶ機会が多くなった。体育教室で伝えない技を、自分たちで考え披露してくれるようになった。

体育教室の時間がきっかけとなり、日常生活に波及していくことは大きなねらいの1つだった。鉄棒は環境の面でも、動作の面でも幼児が個々に取り組みやすい遊具であることもあり、きっかけづくりから日常生活につながったと感じた。教え込むのではなく、興味をもってもらい、意欲をさらに高めることが指導者の大きな役割だと感じた。

### IV. まとめ

サーキット運動は強度を高めるための詰め込み教育ではなく、どのような気象条件でも、子どもどうしの相互作用によって思わず身体を動かしたくなる意欲を引き出し、自然に強度の高まる運動である。このことから、サーキット運動は幼児に適した方法で強度を高め、身体活動量を増やすと言える。今後はサーキット運動に限られた時間内だけでなく幼児の生活にどれほど影響をもたらせているかどうか考えていきたい。



## 第64回 読売教育賞 募集

読売新聞社では、「読売教育賞」を募集しています。「読売教育賞」は教育現場で、意欲的な研究や創意あふれる指導を行い、すぐれた業績をあげている教育者や教育団体を広く全国から選び、その功績を顕彰することにより、現場で指導する人々の励みとし、ひいては多様で創造性に富む教育環境づくりを推進することを目的としています。

## ◆募集部門

1. 国語教育 2. 算数・数学教育 3. 理科教育 4. 社会科教育 5. 生活科・総合学習 6. 保健・体育の教育 7. 外国語教育 8. 児童生徒指導 9. 教育カウンセリング 10. 学校づくり 11. 地域社会教育活動 12. 幼児教育・保育 13. 美術教育

## ◆募集対象

小・中・高校、特別支援学校（学級）、幼稚園・保育所、認定こども園、児童館、学童保育所の長および教職員、またPTA、社会教育団体、教育委員会、教育研究所、博物館、科学館、図書館、公民館などの関係者。ただし、応募する活動内容が上記機関・団体で行われたものであれば、応募時点で上記機関・団体に所属している必要はありません。

## ◆提出書類

1. 教育実践報告書（A4版で10ページ程度） 2. 応募票 3. 報告概要書 4. 推薦書

## ◆提出期間 平成27年8月1日（土）～同年8月20日（木）

## ◆発表と表彰

1. 受賞者は平成27年10月下旬の読売新聞紙上に発表する予定。  
2. 表彰式は平成27年11月6日（金）に東京都内で開き、最優秀賞受賞者には盾と副賞（1件50万円）をお贈りします。

## ◆お問い合わせ／

東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞東京本社編集局 読売教育賞事務局

【電話】 03-6739-6713 【Eメールアドレス】 kyoikup@yomiuri.com

\*詳しくは「読売教育賞サイト」（<http://info.yomiuri.co.jp/culture/kyoiku/>）をご覧ください。

## (株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8  
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415  
フリーダイヤル

## 園ぴゅう太のメールサービス



サーバー  
二重化!

## らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！  
組別・個別送信、既読確認もできます。  
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



スマホ  
で

## らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！  
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。  
タップするだけでメール送信できます。

ぜ～んぶ学研に  
おまかせ!!

心機一転！  
リニューアル

オリジナル！  
キャラクター  
ロゴ

Flashで  
動画!

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新  
もお電話・FAXで対応します。  
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも  
システム併用でご対応いたします。

## 時の流れに身を任せ

一昨年度は、公益法人制度改革による、社団法人を一般社団法人とする定款変更がありました。そして、昨年度は子ども・子育て支援新制度の施行を見据えて2月の臨時総会において、定款の名称・目的・事業等を平成27年度から変更することが決議されました。名称は「一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会」と長くなり、一息では言えないことがあります。

名称変更をはじめとした定款変更については、昨年の夏から検討作業を開始しましたが、紆余曲折を経てこの名称になりました。正式な名称は決まったものの、昭和24年からずっと親しまれてきた現在の略称「ぐんしょう」をどうしようかということが課題となっています。

名称変更の他に会費規程の変更が必要になりました。昨年度までは、園児割を学校基本調査の人数としていましたが、基準日を園児数がほぼ落ち着くと考えられる前年度の1月10日に変更し、また、3号認定子どもの保育に携わる職員も研修会に参加することを前提に考える等の理由から、0歳から園児割人数として数えることとしました。結果的には、今年度は会費が昨年度比4%近くアップとなりました。

また、各市町村の情報交換の場としての市町村委員会の設置、幼稚園・認定こども園の類型を5つに分けそれぞれの類型に属する園が協議する場としてのグループの設置を行いました。

協会としては、会員園が認定こども園に移行していく現実を直視しながらも、今まで「群私幼」を支えてきた先輩方の「幼稚園教育」へ心血を注いできた情熱を忘れずに子どもたちに未来を繋ぐ事業を展開していかなければならないと考えます。(一社) 群馬県私立幼稚園・認定こども園協会副会長・総務部長、前橋市・ポケット幼稚園／権頭俊澄)

## 教育の質的向上が 未来を切り拓く

子ども・子育て支援新制度の主たる目的は全ての園がそれぞれの特質を生かしながら、質の高い教育・保育の総合的な提供に努めていくことにあります。

教育の質を考える時、『理念を具現化する教育課程の質と教員の質』、『理念実現のための教育事業選択力と財政規律のバランスを踏まえた運営の質』と、これら2つを下支えする『国の法律と財政保証とがセットになった制度の質』の3つがあげられます。これらを牽引するのは、子どもの成長への教員の思いと子どもの発達に必要な体験との接点を探るべく『教育内容の質の向上』において他にないと考えます。このことは、今日グローバル化が引き起こす激しい変化への対応、持続可能な社会の開発、宗教・民族を越え人々と協調しながら創造的に解決策を見出し続けていける人材を育成することとも連動しています。

木造建築では『癖と拘りの木組み』を大切にされていると聞きます。幼児教育においても、子どもの内面の育ちを見取りながら一人ひとりの子どもの心に意欲の灯をともし、的確に支援していくことが重要です。『教育の質的向上が未来を切り拓く』を合言葉に幼稚園・認定こども園のそれぞれの機能が生きるような新たな視点の導入も念頭に置きながら、各種研修事業を推進していく所存です。

こうした取組みが『子どもの最善の利益』を希求し続けた大人の責任の証として、かけがえない未来の子どもたちへの贈りものとなると信じています。

((公財) 山口県私立幼稚園協会理事、周南市・徳山中央幼稚園／御手洗賢成)

## 編集後記

私幼時報の編集のため市ヶ谷の事務局に通い始めて3年が経ちました。普段は殆ど自園にいて子どもや保護者を相手に仕事をしているので、2か月に一度の東京出張は良き気分転換であり、編集会議では錚々たる諸先輩方からご指導を頂ける、貴重な学びの場でもあります。午後から始まる会議の場合、市ヶ谷までの道のりを散歩がてら歩くため、いつも午前中の早い時間に東京駅に着くよう新幹線に乗ります。東京駅から市ヶ谷まで、私

のお気に入りの散歩コースを簡単に紹介しますと、まず丸の内改札を出て皇居へ向かいます。大手門から皇居の中へ入り、東御苑や江戸城天守台を横目に見ながら北桔橋門を抜け、北の丸公園を通過して武道館を見上げつつ内堀通りへ。長い参道を通して神社で非公式参拝。そして事務局へ、というコースです。時間にすると40分。雑念が振り払われ、心静かに編集会議に臨めます。

(調査広報編集委員・前田 幹)



バス専用機不要！  
スマホで簡単バス運行管理！

# くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



株式  
会社

チャイルド社 インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15  
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

## いつもNAVI

「いつもNAVI 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。

# 地震対策は お済みですか？

耐震補強の専門スタッフが疑問にお応えします。

- 園児を地震から守るために！
- 園児の保護者が安心できるように！
- 建て替えまでの応急処置に！

外付け施工なので工事中も普段通りに使用可能

通風・採光・出入り  
も今まで通り

公的機関の  
技術評価取得

補助金対象工法



木造幼稚園



鉄筋コンクリート造 幼稚園

## 補助金を利用できます！

私立幼稚園施設整備費補助金(文部科学省)  
申請により、要件を満たす建物の耐震工事  
についての補助金

補助額 全体費用(設計+工事)の

最大50%

お問い合わせ、資料請求は



0120-260-220 (受付時間) 9:00~17:00

ウッドピタ

検索

株式会社ピタコラム

ウッドピタ事業本部

(株)ピタコラムは矢作建設工業(株)(東証一部上場)の100%子会社です。



## 平成 27 年度（第 4 回） 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地       | 講習の概要                                                                                                                                                                               | 担当講師                                                                                                                                                                                                     | 時間数   | 講習の期間                             | 受講数   | 認定番号               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|--------------------|
| 北海道<br>札幌市   | 「子どもの変化についての理解」、「教職についての省察」、「教育政策の動向理解」、「学校の内外の連携についての理解」の 4 項目について、教員に求められる最新の知識の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。                                                                     | 糸田 尚史（名寄市立大学短期大学部児童学科教授）、佐藤 公文（北海道教育大学教育学部旭川校非常勤講師）、佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）、大坂 克之（学校法人大藤学園あいの里大藤幼稚園園長）、草薙 恵美子（國學院大学北海道短期大学部教授）、鈴木 傑（光塩学園女子短期大学非常勤講師）、吾田 富士子（藤女子大学人間生活学部保育学科准教授）、平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授） | 12 時間 | 平成 27 年 7 月 28 日～平成 27 年 7 月 29 日 | 180 人 | 平 27-81340-00667 号 |
| 福島県<br>郡山市   | 幼稚園教諭を対象とし、教職についての省察並びに子どもの変化についての理解、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解、に関して今日求められている幼稚園教育の課題をふまえて、幼稚園や教員が果たすべき役割について考察する。                                                               | 折笠国康（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科講師）、小林徹（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授）、高橋昇（仙台青葉学院短期大学こども学科非常勤講師）、賀門康博（郡山女子大学附属幼稚園園長）                                                                                                        | 12 時間 | 平成 27 年 7 月 22 日～平成 27 年 7 月 23 日 | 60 人  | 平 27-81340-00668 号 |
| 埼玉県<br>さいたま市 | 幼稚園教諭を対象とし、教職についての省察ならびに子どもの変化についての理解、教育政策の動向および学校内外における連携協力についての理解に関して、今日求められている幼稚園教育の課題を踏まえて、幼稚園教員が果たすべき役割について考察する。                                                               | 神長美津子（國學院大學教授）、福山多江子（東京成徳短期大学教授）、高橋かほる（聖徳大学教授）、横山 文樹（昭和女子大学教授）                                                                                                                                           | 12 時間 | 平成 27 年 7 月 11 日、平成 27 年 7 月 18 日 | 90 人  | 平 27-81340-00669 号 |
| 東京都<br>千代田区  | 本講習は、「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校内外における連携協力についての理解」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。                                                     | 浅見 均（青山学院女子短期大学教授）、鈴木みゆき（和洋女子大学教授）、小林紀子（青山学院大学教授）、篠原孝子（聖徳大学教授）                                                                                                                                           | 12 時間 | 平成 27 年 8 月 10 日～平成 27 年 8 月 11 日 | 200 人 | 平 27-81340-00670 号 |
| 神奈川県<br>横浜市  | 「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。                                                         | 上野 奈初美（小田原短期大学教授）、宮川 萬寿美（小田原短期大学准教授）、柴崎 正行（大妻女子大学教授）                                                                                                                                                     | 12 時間 | 平成 27 年 7 月 27 日～平成 27 年 7 月 28 日 | 200 人 | 平 27-81340-00671 号 |
| 神奈川県<br>川崎市  | 本講習は、「幼稚園をめぐる近年の状況の変化を踏まえた教員の役割」「子供の生活習慣とからだの変化を踏まえた課題について考える」「園内外における質の高い連携をめざして」「新学習指導要領における小学校 1 年生の学習内容からみた幼小接続について」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 | 曾野 麻紀（洗足こども短期大学幼児教育保育科講師）、堀 純子（洗足こども短期大学幼児教育保育科准教授）、桃枝 智子（洗足こども短期大学幼児教育保育科講師）、並木 真理子（洗足こども短期大学幼児教育保育科准教授）                                                                                                | 12 時間 | 平成 27 年 8 月 3 日～平成 27 年 8 月 4 日   | 100 人 | 平 27-81340-00672 号 |
| 石川県<br>金沢市   | 幼稚園教諭を対象とし、「教職についての考察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技術の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。                                              | 田中 雅道（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長）、安達 謙（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 研究研修委員長）                                                                                                                                   | 12 時間 | 平成 27 年 8 月 25 日～平成 27 年 8 月 26 日 | 60 人  | 平 27-81340-00673 号 |

●選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地       | 講習の概要                                                                                                                                           | 担当講師                                              | 時間数  | 講習の期間            | 受講数   | 認定番号               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|------------------|-------|--------------------|
| 北海道<br>札幌市   | 「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広く深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                        | 今野 道裕（名寄市立大学短期大学部児童学科教授）、松井 亜樹（札幌大谷大学短期大学部保育科講師）  | 6 時間 | 平成 27 年 7 月 30 日 | 180 人 | 平 27-81340-56610 号 |
| 北海道<br>札幌市   | 「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広く深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                        | 蔵満 保幸（札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ指導学科教授）、吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師） | 6 時間 | 平成 27 年 7 月 31 日 | 180 人 | 平 27-81340-56611 号 |
| 栃木県<br>宇都宮市  | ・環境による教育の実践とはいかなることなのか<br>・学びの芽とはその後の教育といかなるところで結びつくのか<br>・指導計画とはいかなるものをその基礎として立てていくものか                                                         | 小林 研介（足利短期大学非常勤講師）                                | 6 時間 | 平成 27 年 7 月 31 日 | 50 人  | 平 27-81340-56612 号 |
| 埼玉県<br>さいたま市 | ア) 園の保育や子どもの育ちを具体的に家庭や地域に伝え、園と家庭の相互理解を図っていくツールとしてのドキュメンテーションとは何か、その役割や特性、効果や活用を考える。<br>イ) 幼稚園草創期から現在に至るまでの歴史の中で、幼稚園の役割やその教育内容がどのように変化してきたかを考える。 | 上垣内伸子（十文字学園女子大学教授）、柿沼 芳枝（昭和学院短期大学准教授）             | 6 時間 | 平成 27 年 7 月 4 日  | 90 人  | 平 27-81340-56614 号 |

|             |                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                   |       |                                   |       |                    |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|--------------------|
| 埼玉県さいたま市    | ア) 子どもの成長発達を支える土台は生活であり遊びである。その土台について、幼稚園の役割や保育者の関わりをどうすればよいか考えるとともに、土台作りに必要な保護者支援についても考える。<br>イ) 幼児期における描画表現の特性とその発達過程を知り、幼児の感性を育み、幼児が伸び伸びと表現することができるようになるにはどうすればよいかを考える。                                                      | 田澤 里喜 (玉川大学准教授)、平田 智久 (十文字学園女子大学教授)                                                                                                                                                                               | 6 時間  | 平成 27 年 7 月 11 日                  | 90 人  | 平 27-81340-56615 号 |
| 埼玉県さいたま市    | ア) 幼い子どもたちの生活環境は、身近な空間に多く存在する。そこで、身近な自然環境や社会環境に着目し、今一度日常保育への上手な活用の仕方を工夫してみる。<br>イ) 主体的に、幼児が活動に取り組めるような、また園生活をより楽しく豊かにすることができるような保育環境作りについて考える。                                                                                  | 大澤 力 (東京家政大学教授)、安見 克夫 (東京成徳短期大学教授)                                                                                                                                                                                | 6 時間  | 平成 27 年 7 月 18 日                  | 90 人  | 平 27-81340-56616 号 |
| 千葉県千葉市      | 本講習は、国公私立の区別なく、幼稚園教育に携わる教諭の多様なニーズに応じた講習、幼稚園教育における専門的な知識や技能の習得、幼稚園教諭としての資質向上のための意識ある講座とするため①現場に生かす幼稚園教育要領について②理想の教育課程作成についてなどを中心に講義等を行います。                                                                                       | 安西 祐一郎 ((独)日本学術振興会理事長)、中村 和彦 (山梨大学大学院教授)、平田 智久 (十文字学園女子大学教授)、宮崎 豊 (玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授)、横山 洋子 (千葉経済大学短期大学部教授)、塩 美佐枝 (聖徳大学大学院教職研究科教授)、阿部 恵 (道灌山学園保育福祉専門学校保育部長)、松原 敬子 (植草学園短期大学福祉学科児童障害福祉専攻准教授)、平山 許江 (文京学院大学大学院特任教授) | 6 時間  | 平成 27 年 7 月 28 日                  | 100 人 | 平 27-81340-56613 号 |
| 東京都中野区、千代田区 | 1 日目は河邊貴子先生から、子ども理解をどう次の保育につなげるかをテーマに講演を行い、続いて岡上直子先生から子どもが夢中になる遊びの要因講義を行う。2 日目は高柳恭子先生から道徳教育について、原本憲子先生からリスクハザードについて講義を行う。また、講義内容について参加者同士で討論し合い、いずれも自らの問題として理解を深め、実践力をつける講習とする。                                                 | 河邊貴子 (聖心女子大学教授)、岡上直子 (十文字女子学園大学教授)、高柳恭子 (宇都宮共和大学教授)、原本憲子 (聖徳大学教授)                                                                                                                                                 | 12 時間 | 平成 27 年 7 月 22 日～平成 27 年 7 月 23 日 | 150 人 | 平 27-81340-56617 号 |
| 神奈川県横浜市     | 本講習では、幼稚園教育の現場のニーズが多様化している現状に対し、心理学的な観点からのアプローチを試みます。この講習は、幼稚園教諭が、心理学的な人間発達理論や、カウンセリングマインドなどについて、専門的な知識を習得することで、更なる資質の向上が期待されるものとして企画されました。その目的のために、①保護者との円滑な関係の構築、②子どもが育つことへの総合的な支援などを中心に講義等を行います。                             | 久米 真浩 (洗足こども短期大学幼児教育保育科非常勤講師)                                                                                                                                                                                     | 6 時間  | 平成 27 年 8 月 1 日                   | 80 人  | 平 27-81340-56618 号 |
| 神奈川県横浜市     | 本講習では、一人ひとりの子どもの主体的な育ちと学びを支えていくための保育実践の基盤となる「子ども理解」と、その理解に基づいた「援助」を幅広く探究していく幼稚園教諭としての専門性について学び、理解を深めることを目的とします。具体的事例やビデオ・カンファレンスを通して、自らの子どもを捉えるまなざしや保育の枠組みを問い直すと同時に、保育の質を向上していくために必要とされる保育者の資質や、それを支える同僚や保護者との関係構造についても探っていきます。 | 高嶋 景子 (田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授)                                                                                                                                                                                 | 6 時間  | 平成 27 年 8 月 7 日                   | 80 人  | 平 27-81340-56619 号 |

# 今こそ学びたい、保育の大切なこと

L24200

**保育が織りなす豊かな世界**  
著/天野珠路  
B6上製判 定価: 本体 1,200 円 (税別)  
震災は記憶から消したい出来事でした。しかしこれからのことを考えると、特に子どもの命を預かる保育者には忘れてはいけない教訓を残しました。当時の保育現場ルボからそれを読み取れる他、保育の素晴らしさが一杯の書。

L24100

**保育の楽しみ方がわかる本**  
著/森川 紅  
B6上製判 定価: 本体 1,200 円 (税別)  
保育は素晴らしい! この本には、そう感じずにはおれない、たくさんの保育事例が紹介されています。読みやすい現場の言葉で短い事例です。そこには子どもの「気づき」を大切にしそれに共感する姿があります。若手保育者必読の書!

**ひかりのくに株式会社**

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151 代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111 代表